

# そうべつ議会だより



壮瞥中学校 現校舎で最後の卒業式

■ 第1回定例会のあらまし	2
■ 予算審査特別委員会	4
■ 一般質問	16
■ 薫風	20

# No. 97

2025年5月



壮瞥町議会  
ホームページ



壮瞥町議会  
YouTube



壮瞥町議会  
facebook

発行 / 壮瞥町議会

編集 / 議会広報特別委員会  
(TEL 66-2121 · FAX 66-7001)

# 定例会のあらまし

# 議案審議

## 物価高騰対策商品券事業等を実施

令和7年第1回定例会は、3月6日から14日までの9日間の会期で開催されました。4名の議員が一般質問を行い、町政を質しました。令和7年度一般会計予算についてなど議案15件を審議し、それぞれ可決しました。

### 第1回臨時会

第1回臨時会は、1月27日に開催され、一般会計補正予算ほか全6件について審議し、可決されました。

令和6年度壮瞥町一般会計補正予算(第8号)について  
4,788万3千円追加

#### 補正後の予算総額

58億8,998万6千円

物価高騰対策商品券配付事業

1,372万1千円追加

#### 質疑

商品券配付の予定時期、使用期間及び町民への告知方法について、伺いたい。

#### 答弁

本事業は、エネルギー・食料品価格等の物価高騰に直面している町民に対し、1人当たり5千円分の商工会商品券を配付することにより経済的負担の軽減を図るもので、配付の予定時期は3月中、使用期間は配布後3か月間、告知方法は町広報誌によることとしている。

### 第1回定例会

壮瞥町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

#### 質疑

条例改正により基礎課税に係る賦課限度額が65万円から66万円に、後期高齢者支援金等課税額に係る賦課限度額が24万円から26万

円にそれぞれ引き上げられるが、現状で限度額の対象世帯はどのくらいあるのか。

#### 答弁

6年度の対象世帯は6世帯となっている。

令和6年度壮瞥町一般会計補正予算(第9号)について  
2,082万円追加

#### 補正後の予算総額

59億1,080万6千円

指定管理者施設運営管理維持支援金

600万円追加

#### 質疑

支援金の対象となる指定管理者は何件か。

#### 答弁

近年の人員費や物価高騰による支出増や利用料収入の減により収支の赤字が見込まれる指定管理者に対して、公共サービスの維持を目的とした経営支援を行うための支援金になるが、対象となるのは、6施設を管理する指定管理者1件である。



第1回定例会の様子

# 令和7年 第1回

**質疑**  
今後、施設利用料の見直しの予定はあるのか。

**答弁**

北海道の公衆浴場入浴料金統制額や、近隣のパークゴルフ場やキャンプ場の料金を確認した上で検討していきたい。

## 春期管理捕獲事業委託料

72万3千円追加

**質疑**  
北海道ヒグマ管理計画に基づき、ヒグマの人里出没抑制やヒグマ対策技術者育成を目的として残雪期に捕獲を実施することだ

が、6年度の出没状況・被害額と、捕獲の実施時期を伺いたい。

**答弁**

6年度は町内で6回の目撃等が確認されている。被害額は確認されていない。捕獲の実施時期は、3月末までの実施予定となっている。

人材育成の具体的内容は、講師を招き、猟友会の若手を中心に講習を開催する予定である。

**質疑**

山おこし協力隊員も本事業に参加するのか。

**答弁**

山おこし協力隊員は、既に銃を所持し、狩猟免許も取得しており、今回の事業にも参加することとなっている。

## 中学生フィンランド派遣(海外研修)事業

691万8千円減額

**質疑**

減額となった理由について伺いたい。

**答弁**

大きな減額要因は、中学生フィンランド国派遣事業委託料で、当初2,531万3千円を計上していたが、1,856万円程の実施額となったことから、674万6千円を減額した。当初予算では、コロナ禍でフィンランドに行くことができなかった高校生も対象とし45名を派遣できるよう予算措置したが、実際の参加は34名であったことから大きな減額となった。

8千円を減額することだが、その理由について伺いたい。

**答弁**

6年度は、町有林の伐採と風倒木の処理を9.9ヘクタールで施工したが、そのうち5.97ヘクタールが未被災面積と見込まれたため、過去の標準値を利用して材積を積算していた。

しかし、風倒木被害地の残存木には良質な材が少なく、また、未被災山林においても、内部に風倒木が見受けられ、それら風倒木が残存木の肌を傷つけたことで、材としての価値を大きく損ねていたことから、当初見込んでいた額よりも大幅な減となった。

**質疑**

町有林の適切な管理と適期な伐採によって、町の財政に寄与することが大事だと考えるが。

**答弁**

ご指摘の通り、適切な管理と適期の伐期に努めたい。また、風倒木の処理も適宜行えるよう検討していきたい。



## 工事発注状況

令和7年1月まで

( ) 内は予定価格

- 町道星野4号線道路改良舗装工事  
20,130,000円(20,680,000円)  
道栄建設(株)
- 滝之町集落排水処理施設機器修繕工  
8,316,000円(8,567,900円)  
水ingエンジニアリング(株)北海道支店
- 久保内集落排水処理施設機器修繕工  
3,410,000円(3,513,400円)  
水ingエンジニアリング(株)北海道支店
- 仲洞爺集落排水処理施設機器修繕工  
1,650,000円(1,698,400円)  
水ingエンジニアリング(株)北海道支店
- 壮瞥小学校空調設備整備その2工事  
2,937,000円(2,970,000円)  
栗林・堀口 経常建設共同企業体
- 大川浚渫工事  
6,600,000円(6,688,000円)  
壮建興業(株)
- ゆーあいの家泉源ポンプ取替工事  
1,650,000円(1,683,000円)  
(有)堀口水道
- 壮瞥中学校校舎施設警備機器設置工事  
1,387,540円(2,010,800円)  
セコム(株)

**質疑**

当初予算では、358万3千円を計上していたが、今回300万

## 不動産売払収入 立木売払代

300万8千円減額

# 46億8,700万円 9億0,800万円の減

## 令和7年度壮瞥町各会計予算状況

区分	令和6年度	令和5年度	増減
一般会計	4,687,000千円	5,595,000千円	△908,000千円
国民健康保険特別会計	387,300千円	401,200千円	△13,900千円
後期高齢者医療特別会計	60,600千円	61,600千円	△1,000千円
介護保険特別会計	387,700千円	390,000千円	△2,300千円

簡易水道事業特別会計、集落排水事業特別会計は、それぞれ公営企業会計の簡易水道事業会計、集落排水事業会計へ令和6年度から移行した。

		収入	支出
簡易水道事業会計	収益的収支	193,181千円	193,181千円
	資本的収支	87,613千円	147,054千円
集落排水事業会計	収益的収支	214,930千円	214,930千円
	資本的収支	196,400千円	246,297千円

地域経済の活性化と将来への投資を積極的に進める  
令和7年度一般会計予算46億8700万円を可決!!

第1回定例会で予算審査特別委員会に付託された「令和7年度壮瞥町各会計予算について」は、予算審査特別委員会において、3月12日から14日までの3日間審議を行い、可決すべきものと決定し、14日の本会議で可決しました。

### 一般会計

### 歳出

#### 総務管理費

#### 総務管理費

#### 一般管理費

役場庁舎照明器具LED化  
改修工事  
4,800万円

#### 質疑

LED化によって何パーセントくらい電気代を削減できるのか。

#### 答弁

LED化によって照明にかかる年間の電気代の51%、150万円程度削減できるものと見込んでいます。

#### 質疑

改修工事の工期と、役場事務への影響について。

#### 答弁

工期は9カ月程度。土日などの閉庁日に工事を行うなど、役場事務への影響があまりないよう配慮しながら進めたい。

#### 質疑

工事の財源として、脱炭素推進事業債を充てることだが、当該事業債は、次年度以降も活用できるのか。

#### 答弁

脱炭素推進事業債は7年度限りで終了する。次年度以降は別の財源を探すことになるが、有利な財

源を確保しながら事業の推進に努めたい。

#### 質疑

清掃委託料の増額理由について。

庁舎清掃委託料

183万円

#### 答弁

これまで、毎週月曜日に職員による庁舎清掃を行っていたが、来庁者からトイレが汚れている等の苦情があったことから、7年度から週1回、業者による清掃を行うこととした。なお、職員による清掃も継続して行うこととしている。

#### 職員研修事業

ハラスメント研修委託料

30万円

#### 質疑

6年度は管理職を対象とした研修の実施と聞いているが、7年度の研修はどのように実施するのか。

#### 答弁

7年度は、全職員を対象とした

# 一般会計予算総額は前年比

## 役場庁舎の照明をLED化

研修の実施を予定している。

### 自動車購入費

584万9千円

【質疑】

公用車としてプラグインハイブリッド車を購入する予定のことだが、防災面での活用を考えて、ということか。

【答弁】

プラグインハイブリッド車は、避難所等での携帯電話の充電電源にできる等のメリットを踏まえ、災害時の対応に活用していきたい。

### 防災諸費

#### 防災学識アドバイザー報酬

96万円

【質疑】

防災学識アドバイザーは、どのような役割を担っているのか。

【答弁】

北海道大学名誉教授の岡田先生、大島先生の2名に防災学識

アドバイザーを委嘱しており、防災に関する講演、情報館の展示物の調整、町へのアドバイスを等を行って頂いている。

### コミュニティFM放送局事業負担金

432万8千円

【質疑】

各自治体の負担金と、事業内容について。

【答弁】

各市町の負担金は、伊達市1,350万円、豊浦町330万円、洞爺湖町470万円となっている。事業内容は、災害時の情報発信のほか、普段はコミュニティFMならではの地域の様々な情報の発信を行っている。

### 財産管理費

#### 公共施設指定管理者委託料

3,700万円

【質疑】

昨年度よりも増額となった要因について。



2025そうべつシールド等お披露目会

【答弁】

光熱水費や消費税課税対象分等で増額の要因となっている。

### 財政費

#### 町有住宅管理費

#### 定住促進住宅整備工事

2,180万円

【質疑】

蟠溪地区の旧消防分団詰所を改修して住宅とすることなどが、その内容は。

【答弁】

7年度に国道453号蟠溪工区の道路が完成し、現道が廃道となることから、上久保内の町営住宅に住むことができなくなるため、その代替として定住促進住宅を整備するものである。改修後は1世帯向け木造2階建、延べ床面積86.4㎡となる。

### 企画費

#### 企画費

#### 洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会負担金

452万7千円

【質疑】

事業内容と各自治体の負担金の割合は。

【答弁】

事業内容は、講座・マップやパンフレットの作成・世界ジオパークへの参加などであり、負担割合は、伊達市が454万1千円、豊浦町が271万1千円、洞爺湖町が596万8千円、壮瞥町が452万7千円となっている。

コミュニティタクシーの利用動画、改正時刻表を公表

公共交通利用促進セミナー  
運営委託料

24万9千円

いる。

**質疑**  
6・7年度で計上しているが、6年度の取組内容と活用は。

**答弁**  
6年度の委託内容は、「コミュニティタクシーの体験」動画で、利用の仕方について作成、でき上がっているがいろいろな場面で披露していきたい。

コミュニティタクシー時刻表の見直しに係る原案作成で、アツプル広場等で意見を聞きながら改正した改正版は、概ね、でき上っているので7年6月頃に示したい。

**質疑**  
セミナーで動画ができたのであれば、町民に周知すべきでないか。できた時になぜ周知できなかったのか。

また、時刻表を見やすくする

ための取組は6年度事業にも関わらず、7年6月の公表は遅くないか。

**答弁**

コミュニティタクシーの体験動画は、ユーチューブで視聴ることができるが、今後は高齢者の集まる場所や健診時の待合室等で披露したい。

改正時刻表はできるだけ早く公表に取り組みたい。

コミュニティタクシー運行維持費補助金

1,020万円

**質疑**

コミュニティタクシー運行維持費負担金について、人件費や燃料費の高騰が続く中、ここ4、5年同じ金額で提案されている理由は。

**答弁**

資料提出を求め出されたこともあるが、予算作成前に事業者と話し合い、事業者も納得した金額での計上となっている。

物価高騰や人件費などを考慮し、今後変更する可能性はゼロではないが、7年度は計上の予算でお願いする。

**質疑**

コミュニティタクシー運行で利用者の減少の要因は。

**答弁**

利用実績が年々少なくなっており、利用者減の要因はわからないが、人口減や高齢化の進行



壮瞥町老人クラブ連合会 演芸交流会

等が考えられる。また、頻繁に利用された方が入院、施設入所等により減少したことも考えられる。

行政情報システム運用管理事業

2億4,532万3千円

**質疑**

財務会計システム更新委託料・ガバメントクラウド回線利用料・西いぶり広域連合負担金(電算)が多いが、このことにより人件費も含め、行政コストの削減となるのか。システム導入により経費が上がるのではないか。

**答弁**

国の標準化への対応として移行している。システムの運用により、残業など人件費の削減や少人数で行える対応をしていきたい。

**質疑**

今後の固定経費と、各自治体の負担割合は。

## 地域プロジェクトマネージャーによる移住定住等の対策実施

**【答弁】**

回線利用料は続いて行く。負担割合は、室蘭市は8億2,924万9千円、登別市は5億786万円、伊達市は4億263万5千円、洞爺湖町は1億1,475万7千円となっている。

**ふるさと納税事業**

6,999万4千円

**【質疑】**

ふるさと納税の返礼に充てる特産品の増額の要因とその特徴的な点について。

**【答弁】**

増額の要因は、納税額の増に伴うもので、特産品代のほか送料を含んでいる。

返礼の特産品の上位は、米、トウモロコシ、宿泊施設宿泊券の順で、メロン、リンゴが続いている。

寄付金の推移は、5年度が1億円、6年度は1億4千4百万円で、7年度は1億5千万円を想定して予算計上している。

7年度は、米不足の影響が考

えられるが、農家や農協、ホクレンとも連携して対処したい。

**定住促進・まちづくり推進事業**

2,051万6千円

**【質疑】**

本町は、人口戦略会議が分析した消滅可能性自治体に該当するののか。

**【答弁】**

本町は該当しないと認識している。新しいホテルが開業し、従業員が定着したのが要因として考えられる。さらに、総合計画を目標に努力し、人口減少に対しての努力を続けていきたい。

**【質疑】**

地域プロジェクトマネージャーは、空き家改修・整理補助金、持ち家住宅取得奨励交付金事業と、どのように関わって行くのか。

**【答弁】**

壮瞥町に住みたいが空き家がなく諦めたという方がいる状況

で、来年度はプロジェクトマネージャーが移住定住・空き家対策の関係を担って頂く予定である。また、地域おこし協力隊についても同様な内容で採用し、行政と民間の橋渡しとして活動して頂きたい。

**地域おこし協力隊事業**

1,256万円

**【質疑】**

今まで企画費で地域おこし協力隊全員分が計上されていたが、今年度から各関係課で予算計上しているため、全体が見えないので、現在の隊員数と今後の募集人数を伺いたい。

**【答弁】**

6年4月には10名の隊員がいたが、8月までに3名が卒業し、3月で4名が卒業するので、残る隊員は3名となる。7年度の採用は、企画財政課で1名、商工観光課で1名で、7年度予算では、5名分を計上している。また、今後も積極的に採用していきたい。

**【質疑】**

6年度の当初予算では14名分を計上していたが、一定の目標が達成できなかったのが減員になったのか。また6年度の子育て支援員採用予定の経緯について伺いたい。

**【答弁】**

地域おこし協力隊の採用は、今後も制度を活用していきたい。毎年、予算要求の段階で各課から課題解決に必要な人材や、協力体制の必要があるかを含めて要求をまとめている。

今回は卒業する隊員が多く、残った人数が少なく、新規で2人。基本的にそれぞれの課で抱える課題解決に協力隊員が必要であれば、積極的に活用していきたい。

6年度採用予定の子育て支援員は、1人の応募があったが条件が合わず採用に至っておらず、7年度は担当課から募集は必要ないとのことで予算計上していない。

令和7年度、国勢調査を実施

**胆振線代替輸送業務費**

通学定期補助事業

470万円

**質疑**

国鉄胆振線廃止後、通学生に  
対して通学定期代を補助してき  
たが、JR・路線バスの運賃値  
上げの中、6年度と同額の予算  
計上で良いのか。またこの補助  
対象の通学生は何人か。

**答弁**

実績額は5年度が364万5、  
300円、6年度の見込み額で  
401万1,300円で、定期代  
の値上げ分も考慮した上で6年  
度と同額を予算計上した。

補助対象者は6年度上期で42  
人、7年度は43人を想定している。

**統計調査費**

委託統計費

統計調査

241万円

**質疑**

7年度の統計調査の内容と調



建部自治会 小地域ネットワーク事業

査に係る人数は。

**答弁**

7年度では、国勢調査の実施  
年のため、これに係る費用を計  
上している。調査に係る人員は、  
指導員4名、調査員22名となっ  
ている。また、ファイルやコピ  
ー用紙等の消耗品費や通信運搬  
費等も計上している。(国勢調査  
とは、日本国内に居住するすべ  
ての人及び世帯の実態に関する  
統計を作成して、国及び都道府  
県、市町村における各種行政施

策の立案実施その他の基礎資料  
とするもので、5年毎に調査が  
実施されます。)

**民生費**

**社会福祉費**

社会福祉総務費

町営温泉施設等利用料負担金

800万円

**質疑**

利用者減、利用料金減収と予  
算説明があり、今年度は40万円  
減額されているが、5年度と6  
年度の入浴利用者数の実績は。

**答弁**

5年度の利用者実績数は、延  
べ24,917人であった。6年  
度は見込数27,000人分で予  
算計上したが、今現在の見込数  
は26,650人。7年度は26,  
650人分で予算計上した。

**質疑**

蟠溪ふれあいセンターが閉鎖  
され、蟠溪地域の方は、地域の

3つの入浴施設を利用している  
と思うがその利用実績数は。

**答弁**

3か所の民間入浴施設の実績  
は、5年度の利用者数1,481  
人。6年度は見込数2,400人  
分で予算計上したが、今現在の  
見込数は1,800人。7年度は  
1,800人分で予算計上した。

福祉灯油購入助成事業

484万円

**質疑**

昨年度より24万円減額された  
理由と6年度利用者実績につい  
て。また、7年度の見込み数は。

**答弁**

5年度の実績は176戸。6  
年度の見込数は170戸。7年  
度予算では200戸を見込み計  
上した。減額理由は、その都度  
の灯油単価変動のためで、支給  
量は200ℓで変わらない。

## 子育て応援事業の出産祝金を10万円から50万円に増額

### 児童福祉費

#### 児童福祉総務費

##### 子育て応援祝金事業

778万1千円

#### 質疑

子育て応援祝金事業で出産祝金が10万円から50万円に増額された。インパクトのある数字かと思うが、呼び水とはなるがそれだけで少子化対策にはならないと思われる。岡山県奈義町のように、平成の大合併時、住民投票で単独町村を選択し、町を存続するために、住民参加型で住民意識を高めながら子育て支援策を拡充し、出生率を2.95に増やした町もある。当町でもさまざまな幅広い子育て支援策をしているが、出生率を上げるのも大事だが、子育て世代の方が転入してくることも重要、子育て世代の出産祝金の増額のPRも含め、どのように考え、町外にどのように訴えていくのか伺いたい。

#### 答弁

総合的施策を打っていく必要があると考えている。子育て施策が充実していることをもってPRすることも必要であると考えている。岡山県奈義町の施策は参考にし、取り入れるところは取り入れたい。働く場所・住む場所・子育て環境・老後の安心安全がセットとなつて発信できるのがベスト。それぞれに改善の工夫が必要であり、総合的施策を打っていく。最近の出生数の激減に危機感を持ち、役場全体の子育ての姿勢として、出産祝金10万円を50万円に計上し提案した。ご理解頂きたい。少子化対策は政策の真ん中にしなければならぬと思っている。

#### 質疑

少子化が進んでいく中、久保内地区では剣道が盛んで他の町から剣道を学びたいと来ている子供もいる。そこで学んだ子供たちが、今、指導者となって地域の子供たちを教えている。そのように、町として地域が子供

たちを支え、そこで学んだ子供たちが将来の地域を支える、という機運の醸成を含んだ取組をお願いしたい。町の見解を伺いたい。

#### 答弁

繰り返しになるが、総合的施策を打っていく。久保内地域の剣道が盛んになったのも、ここ数年若い世代が戻ってきて指導にあたっているところにある。若い世代の方が壮瞥町に住んでもらうためにあらゆる手立てを講じることが大切と思っている。

#### 質疑

子育て応援祝金は、給付される祝金の半分を町内で使える商品券で給付と認識していたが、今回、出産祝金が10万円から50万円に増額されるが、給付はどのようになるのか。

#### 答弁

今までは給付の半分は現金、半分は商品券で給付していた。今回、出産祝金は50万円となり、半分の25万円を商品券で給付す

ると商品券の期限が3ヶ月しかないもので、現金で40万円、商品券で10万円を給付する方法に変更する予定。

#### 質疑

5年11月から7年3月までの広報そうべつに載っていた出生者、8人中6人の親御さんに直接会ってお話を伺った。6人中5人が給付金はありがたいが給付方法は改善すべきと答えた。1人はこのままでいいとの答えだったが、5万円は食費に使ったという方もいた。ほとんどの方が給付は現金で子供の成長に合わせて使いたいと言っていた。町ではいままでの給付対象者の声を聞いてきたのかどうか伺いたい。また、私が聞いた給付を受け取った方の声をどのように感じ、給付方法を変える考えがあるか伺いたい。

#### 答弁

今までこのような細かな調査をしてこなかったため、個別に調査し給付者の声を届けて頂い

国営農地再編整備事業を実施

たことに感謝申し上げる。政策には目的があつて、商品券発行が目的に合致しないという指摘があつたが、子育て応援祝金に限らず、持ち家住宅取得奨励金にしても商工業振興、商店街を利用してもらいたいという意味合いもあつて、商品券をセットにしていることをご理解頂きたい。子供用品に限らず、食費であつても家庭内子育て全体の支援になるのであれば、制度の目的は果たしていると思つている。現段階では50万円のうち、40万円は現金、10万円は商品券という原案で進めているが、商工業振興商店街振興の意味合いでも、商品券セットの考えは現段階では変わらない。

**質疑**

町民全体を対象にした物価高支援の商品券に異議はないが、子育て支援という中に商工業振興を入れる必要はないと思う。給付者からさまざまな意見もあつたが、6人中5人は現金給付がいいとの回答であり、このよう



北海道壮警高等学校卒業証書授与式

壮警高等学校 卒業式

な補助事業をやつたら、是非、評価をして頂きたい。再度、内部で検討して頂きたい。給付を受ける方が本当に良かった、嬉しいと思われよう給付方法を検討して頂きたい。

**答弁**

10万円が50万円になることに理解頂きたい。商工業振興は必要ないというご意見には賛同しがたい。子育て世代の方が例えそのような意向をお持ちになつたと

しても、政策の意図をしつかりと説明していく必要があると思つている。子育て支援の施策はこれだけではなく、子育て環境を整えることもしている。是非、現金も5万円から40万円になることも含めて説明して頂きたい。色々な意見があるので検討はさせて頂くが、商工業振興はいろいろな面で大事であると思つていて、皆さんの大切な税金を子育て支援世代だけでなく、商品券で商工業振興も図つて行きたい。この政策は子育ての町というPRの政策の一つでもあると理解して頂きたい。

衛生費

保健衛生費

温泉管理費

地熱エネルギー維持管理経費

3,719万2千円

**質疑**

そうべつ温泉病院の移転によつて温泉水の使用量が減つたと思つが、今後の配分方法は。

**答弁**

温泉水については、ハウス団地から増量の要望も上がっていることから、8年度に向け検討する。

農林水産業費

農業費

農業振興費

一般農政事業

497万5千円

**質疑**

地域農業経営基盤強化促進計画を7年3月末までに作成し、国に提出しなければならぬが、進捗状況は。

**答弁**

昨年6月から関係機関や農業委員会等への説明協議、また、国営農地再編整備事業会場において説明をしており、3月31日の計画決定を予定している。

**質疑**

国営農地再編整備事業、農業基本法の変化もあり、町として

## りんごまつり期間中での物産祭りを実施

も難しい判断をせまられているが、農家への周知はどのように行うのか。

**【答弁】**

急ピッチで作業を進めているが、まだ完成度が低いことから、今後、意見交換を行うなど理解を深める取組を進めたい。また、4月の町広報誌でも周知したい。

**りんごまつり補助金**

220万円

**【質疑】**

りんごまつりに物産祭りを取り入れるとのことだが、どのような形で行うのか。

**【答弁】**

りんごまつり期間中に道の駅そうべつ情報館で物販、農産物のPR、アトラクションを行い、盛り上げたいと考えている。

**堆肥センター運営事業**

2,289万8千円

**【質疑】**

堆肥センターの生産量は、こ

数年ほぼ一定だが、生産の余力はないのか。

**【答弁】**

堆肥センターの生産量は、ホイローダーの更新によりバケット容量が増え効率上がり、増産できると考えている。

**情報通信環境整備対策事業**

1,872万6千円

**【質疑】**

情報通信環境整備工事の内容は。

**【答弁】**

無線基地局を2台から5台に増やし、また、水田センサー、ハウスセンサーの増、気象センサーの移設を考えている。

**【質疑】**

情報通信環境整備対策事業は、農家の現場での評価は良くない。農家の評価が高い効果のある事業にしてほしい。

**【答弁】**

スマート農業関係では、事業メニューの中から選定している。今後、運用も含め、作業効率の改善につながるようにしていきたい。

**商工費**

**商工費**

**商工業振興費**

**デジタルスタンプラリー事業**

93万6千円

**【質疑】**

デジタルスタンプラリーの内容は。

**【答弁】**

町内商工業者に協力していただき、簡単なデジタルを活用したスタンプラリーを行い、町内外からお客様を呼び込み、店舗利用を促進し、そのデータを分析し、今後の販売促進に役立てて頂くという内容となっている。

**観光費**

**蟠渓地区観光看板設置工事**

50万円

**【質疑】**

蟠渓地区観光看板の設置場所、内容は。

**【答弁】**

国道453号線の工事に伴い、蟠渓地区の紹介看板が少なくなつたため、蟠渓地区の温泉や景観の魅力をPRする看板を設置するもの。

**オロフレスキー場リフトモーター長寿命化工事**

620万円

**【質疑】**

6年度予算計上していたリフトモーターオーバーホールと長寿命化工事の違いは何か。

**【答弁】**

6年度予定していたモーターオーバーホールについては、リフト電機廻りの不具合が多かつたため、オーバーホールは延期し、リフト電機廻りの修繕を優

道の駅そうべつ情報館の売り場や駐車場等の機能を拡充

先して行った。

7年度は、予定していたオーバーホール作業に加え、リフトモーターを外し、工場に送り、更に細かい部分の点検や、消耗品交換、分解調整作業を行う予定である。

そうべつ情報館機能拡充工事

1億2,360万円

質疑

そうべつ情報館機能拡充工事の内容は。

答弁

より多くの農産物や農産加工品の販売を増やすために売り場を広げ、また、農産物がなくなる時期でも、特産品や加工品の販売に力を入れるために、喫茶スペースの拡充、駐車場の拡張を行い、店舗機能を充実させることとしている。

土木費

道路橋梁費

道路橋梁維持費

町道火山観測所線ロードヒーティング自動制御器更新工事

380万円

光熱水費

1,022万5千円

質疑

ロードヒーティングの耐用年数と箇所、今後、更新時期が迫っているロードヒーティングの工事はあるのか。

また、ロードヒーティングに係る電気使用料はどのくらいか。

答弁

今回予算計上した工事の内容は、温度感知器と自動制御装置の更新である。他にもロードヒーティングが10年から20年使われているので、故障があればそのつど対応している状況にある。ロードヒーティングを行っている箇所は、町道公民館線・高等学校線・星野線・火山観測所線の4か所である。

道路橋梁維持費の光熱費はほとんどがロードヒーティングの経費になっており、4か所の電気代合計で975万1千円を見



壮瞥小学校 卒業式

込んでいる。

除排雪業務委託料

5,133万9千円

質疑

旧道の管理費が増額になった要因と今後の見込みについて。

道道滝之町伊達線の開通により旧道となった6kmについて、冬期間管理することになっているが、将来的に旧道は町に戻される見通しだが冬期間以外夏の期間の道路管理について、7年度どのように行われるのか。

答弁

除排雪業務委託料の増額の要因は、直近5年間の平均の除雪機械の稼働時間を算定し、7年度に予想される単価を積算し、その6割程度の経費を見込んでいる。

人件費や燃料費の高騰、機械経費の増加が見込まれるほか、道道滝之町伊達線の開通により旧道となった部分の除雪について、6年度に道路管理者である北海道から壮瞥町に除雪を委託されたことから6年度に予算を補正したが、7年度についても同様に委託されることも増額の要因になっている。

住宅費

住宅建設費

新規公営住宅及び地域優良住宅整備委託料

4,890万円

質疑

7年度の事業内容と、今後の公営住宅の整備計画は。

## 新規公営住宅及び地域優良住宅整備事業に着手

【答弁】

建部改良住宅建替事業（新規団地建設候補地）については、壮瞥中学校跡地とほくと団地横を候補地として提案させていただいている。

2つの建設候補地の現状を評価し、40戸（公営住宅28戸、地域優良賃貸住宅12戸）の配置を検討しており、7年度は、ほくと団地横での住宅整備に係る実施設計等調査設計業務を予定しており、8年度から9年度までに公営住宅3棟12戸、地域優良賃貸住宅1棟4戸を整備し、10年度には集会所も整備したいと考えている。

壮瞥中学校跡地については、現校舎と体育館を除却した上で、跡地を活用することとし、11年度から13年度に公営住宅4棟16戸、地域優良賃貸住宅2棟8戸を整備する計画としている。

### 教育費

#### 教育総務費

#### 教育委員会費

#### 会計年度任用職員報酬

1,201万7千円

【質疑】

教育委員会費で予算計上している会計年度任用職員は、小・中・高等学校、社会教育関係で何名か。

また、7年度の小・中・高等学校の入学者数、学年別の人数について。

【答弁】

月額報酬の会計年度任用職員は、社会教育関係も含め教育委員会事務局で6名、小学校3名、中学校3名、壮瞥高校1名。

時間報酬の会計年度任用職員は、特別支援教育の支援員を含め7名で、内訳は、教育委員会事務局1名、小学校4名、中学校1名、中国籍外国人1名。

7年度の小中高等学校の入学予定者は、小学1年生20名、中学1年生16名、壮瞥高校1年生13名。

学年別人数は、7年3月現在で、小学1年生13人、2年生11人、3年生12人、4年生13人、



壮瞥小学校 入学式

5年生19人、6年生16人。

中学1年生17人、2年生14人、

3年生13人。

壮瞥高校1年生16人、2年生

11人、3年生15人。

### 小学校費

#### 学校管理費

#### 図書購入費

50万円

【質疑】

図書購入費が増額された内容について。

また、どのような選定で進められているのか。

【答弁】

2千円程度の図書を250冊程度の購入を予定している。

小中学校、地域の方々と選定していると考えている。

#### 教育振興費

#### 要保護・準要保護児童援助費

285万1千円

【質疑】

小中学校の児童生徒で、支給対象人数は。

【答弁】

5年度では、児童生徒総数138名のうち、小学生27名、中学生11名が支給対象であった。

6年度では、児童生徒総数129名のうち、小学生23名、中学生14名が支給対象であった。

#### 社会教育費

#### 交流センター費

ケミカルヴィ市からの訪問団が10月に来町



壮警中学校 入学式

英語指導助手報酬

435万5千円

英語指導助手の活動内容について。

【質疑】

各学校の英語の授業に参加し、学習指導を行っており、社会教育分野でも英会話教室を行うといった活動をしている。

また、週に1回、保育所に出向き園児との交流や英語を使った簡単なゲーム遊びなどで交流を図る等の活動をしている。

保健体育費

保健体育総務費

スポーツによる地域活性化推進事業

660万1千円

で、そのうち学生が20名、大人5名程度の予定となっている。

【質疑】

この事業の目指すもの、また、派遣される人材について。

【答弁】

総務省の地域活性化起業人制度を活用し、法人化されたソフベツアウトドアネットワークの事務局に、企業人材派遣を受けているもので、経営等をサポートしていただいている。

派遣される人材については、6年度に引き続き、東京で会社経営を行っている都我剛之（つがたかし）氏にお願いしたいと考えている。

歳入

町税

町民税

固定資産税

1億7,892万1千円

【質疑】

前年度より4,678万3千円減額となった理由は。

【答弁】

過疎地域持続的発展の特別措置法により地方税の課税免除により免除されている。75%は翌年の普通交付税で補填される。

【質疑】

町内の産業地域振興区域はどこか。この措置は3年で終わるのか。

【答弁】

過疎地域として壮警町全域。制度の期間は3年間。

吊物設備改修工事

135万2千円

【質疑】  
工事内容について。

【答弁】

設置から16年が経過している山美湖多目的ホールのステージ上の吊物ワイヤー4本を交換するもの。

国際交流費

国際交流費

現時点での情報になるが、来町時期は10月13日から16日までの3泊4日を予定している。

また訪問団の人数は25名程度

ケミカルヴィ市学生訪問団及び国際交流団受入事業

100万7千円

【質疑】  
訪問団受け入れの日程や内容について。

【答弁】

## 簡易水道事業、集落排水事業の安定的な運営に努める

諸収入

雑入

その他雑入

671万2千円

**質疑**  
その他雑入が増加した理由は。

**答弁**

西胆振広域連合への職員派遣の当番が本町となったことから、その職員派遣にかかる負担分として増加したものの。

一般会計全体について

**質疑**

子育て支援策は市町村だけの取組には限界がある。国の少子化対策の取組のあり方をしっかり訴えるべきではないか。

**答弁**

子供・子育て支援条例制定後、施策を施行しているが、町村会を中心として国へ要請活動をしていきたい。若い世代が安心し

て家庭を持って子育てができる環境をつくるのが国として必要と考える。

**質疑**

町営温泉の入浴回数券が年度を跨ぐと利用できないと聞いたが、利用できるようにすべきでは。

**答弁**

回数券の利用期限が指定管理期間末の3月31日までとのことだが、利用しやすいように、今後、指定管理者と協議したい。

国民健康保険特別会計

4億120万円

**質疑**

趣旨普及費とは医療費を使用しなかった家庭への報償費か。

**答弁**

1年間医療費を使わなかった家庭で国保税を納期内に完納した家庭に支払われる。



壮瞥高等学校 入学式

簡易水道事業会計

**質疑**

今後の安定的な運営を進める上で現在の課題は何か。

**答弁**

50年経過し大規模な修繕は無いが、修繕を重ねている。

本町だけでなく、人口減少による水道使用料の収入減と施設更新への費用増により経営が悪化している自治体が増えており、また、職員の高齢化や担い手不足の現状もある。住民へ安全で

安心な水を提供する上で浄水場等の更新事業に取り組んでいきたい。

**質疑**

自己財源としての使用料の考えは。

**答弁**

公営企業会計となっているが、一般会計からの繰り入れを行っており、中長期的視点に立って財政収支を検討していきたい。

集落排水事業会計

**質疑**

集落排水事業の課題と取組は。

**答弁**

課題は簡易水道と同様だが、現在、仲洞爺の設備更新事業を進めているが、補助金の配分にもよるが、予定として8年度までに仲洞爺地区の設備更新事業を行っていききたい。今後も経営状況を踏まえながら安定的に事業を行っていききたい。

# Q & A

【農家の減少続く中での農業振興策は】

**Q** 小規模耕作者にも配慮を

**A** 支援策の活用による営農の継続を



佐藤 志

**Q** 農業後継者の現状は

**A** 後継者あり15戸  
後継者なし56戸

議員

ります。

町政執行方針の重点施策としての農業の振興について伺います。

昔も現在も農業は貴重な町の産業ですが、農業従事戸数の減少、農業従事者の高齢化、後継者問題等多くの課題を抱えた産業です。基幹産業の農業の実態をどのように把握し、その課題解決に向け取り組んできた施策の評価は。

町長

令和2年度の農林業センサス統計で、農家戸数120戸、経営耕地総面積947ヘクタール、5年前に比べ、いずれも2割程度減少し、1戸当たりの経営耕地面積は7.9ヘクタールでほとんど変わらない。

農家戸数の減少の中、2年度から町独自の支援策で、新規・就農後継・雇用就農も増えてお

7年度は、町独自で取り進めている新規就農支援制度の継続、農業研修シェアハウスの有効活用等により、担い手の確保、労働力不足解消のため、国営農地再編整備事業の地域整備方針の検討調査を継続、スマート農業の導入等、農業生産性の向上、農作業の効率化につながる取り組みを推進します。

議員

本町の農家戸数は120戸で、その根拠は令和2年実施の「農林業センサス」の統計調査の数字でしたが、2年度以降、現在の農家戸数をどのように把握しているか伺います。

産業振興課長

2年度以降の農家戸数の変動はおさえていません。

後半以降も多く、その子どもが営農に従事されている反面、後継者として従事している中でも結婚されず「俺の代で終わらせ」と話される場に出会います。

先の答弁で農家戸数は120戸とあり、その中で「後継者がいない」と想定される戸数はどの程度か。

産業振興課長

国営農地再編整備事業関係のアンケート調査で回答のあった方81戸で、  
①後継者あり 15戸  
②後継者なし 56戸  
③後継者未定 10戸  
が現状です。

議員

各農家の規模別耕作戸数と国営農地再編事業内容と期待される効果は。

産業振興課長

耕作面積別で、3ヘクタール以下16戸、3〜5ヘクタール11戸、5〜10ヘクタール4戸、10〜20ヘクタール20戸、20〜30ヘクタール3戸、30ヘクタール以上5戸です

壮瞥町は1戸当たりの経営面積、ほ場の面積も狭く、作業効率が上がらない課題もあり、規模拡大が出来ない現状にあります。

今回の事業で大型機械の導入が可能で、スマート農業の部分にも利点が考えられ、農家戸数の減少が考えられる中、農地を守りながら、農地の有効活用を目指します。



農産加工所「E G A O」（立香ふれあいセンター）お披露目会

# 一 般 質 問

〔壮警町のDX推進について〕

**Q** 自治体公式LINEアカウント開設の考えは

**A** 先行市町村等から情報収集し、調査・研究をしたい



菊地敏法

「なぜ今DXに取り組む必要があるか」など基礎的な共通理解を深めるため、全職員対象の研修を実施するべきと思うが。

〔総務課長〕

DX推進に向けてどのような研修が必要か、十分精査した上で、対面での研修が良いか、効率的に関係資料等の情報提供が良いかなど検討し、進めたいと考えております。

〔議員〕 DX推進に向けての組織体制と壮警町DX推進計画の策定の考えは。

〔町長〕

当町の情報化施策については総務課において所管しており、DX推進に向けては総務課が中心となり進めることとなります。

自治体のDX推進計画については、総務省において自治体DX推進計画策定のためのガイドラインや支援策が示されており、本町のDX推進計画の策定については、国のガイドラインや他市町村の策定状況等も踏まえ、検討します。

〔議員〕

外部人材登用の考えは。

〔総務課長〕

外部人材については、総務省

の外部デジタル人材の確保ガイドブック等を参考にしながら検討、判断していきたいと考えております。

〔議員〕

全庁的な体制構築はどのよう

〔総務課長〕

副町長をトップとして「壮警町DX推進ワーキンググループ」を設置し、自治体の情報システムの標準化・共通化の推進、自治体の行政手続きのオンライン化の推進、DXに関わる施策の情報収集及び企画立案、その他の行政サービスの向上に資する施策の企画立案の検討をしております。

〔議員〕

首長や幹部職員から一般職員まで、「DXとはどういふものか」

〔議員〕

町民の皆さんがデジタルの活用として一番利用しているスマホを使ったDXの推進、中でも各自治体で多く使われている自治体公式LINEアカウントの開設をすべきと思うが、その考えをお聞きます。

〔町長〕

現在、多くの自治体においてLINE公式アカウントを開設し、災害や子育て、イベント等の情報発信、ホームページへの誘導や行政サービスの提供を行っていることは承知しております。

現在のデジタル社会において

は、多くの住民の皆さまがスマートフォンを所有し、LINEアプリをはじめとするSNSを利用しているものと認識しております。

町といたしましては、LINE公式アカウントを活用した行政情報発信や行政サービスの提供についての課題や効果について、先行実施している市町村等から情報収集するなど、調査・研究をしていきたいと考えております。



シーニックナイトinミナミナ2025

# Q & A

〔本町が持続可能な発展を遂げていくために〕

## Q 本町と台湾との関係強化の重要性は

## A 関係団体と連携し、効果的な情報発信、誘客に取り組む



湯浅祥治

議員

本町が持続可能な発展遂げていくためには、多様な地域や人々と協力し、現にある人・物・金・情報等の経営資源を使って、それらの合計以上の成果を生み出すことが重要。台湾との関係強化は本町の発展にとって大きな可能性を秘めたテーマであり、その意義を改めて見つめ直す必要があると考える。

壮瞥町においても、自然景観や歴史的遺産、特産品といった観光資源を活用し、台湾からの観光客を誘致することで、地域経済に大きな波及効果が見込まれる。

そこで、次の点について質問します。

①台湾をどのように位置づけ、本町との関係の重要性をどの

ように捉えているか。

②観光・文化・スポーツ・教育など、どの分野で台湾との関係強化が可能と考えるか。現在行っている取組はあるか。

③台湾は日本の重要な経済パートナーであり、多くの自治体でも工場誘致や観光振興等の経済協力を行っている。本町として台湾との経済交流をどのように考えているか。地元の特産品等を台湾市場に向けてプロモーションする具体的な計画等はあるか。

④本町と台湾の都市との姉妹・友好交流都市を結ぶなどの連携について町長の考えは。

町長

①台湾からは、洞爺湖、昭和新山地区に多くの方が来訪して

おり、台湾を含む、アジアからの旅行者は、本町の経済に大きく影響を与えるものであり、これまで以上に関係団体等と連携し、効果的な情報発信、誘客に向けて取り組む。

②観光の分野で大きな影響があり、この分野を中心に関係強化が重要であると考えている。これまでも近隣市町村等と連携し、台北市や高雄市などでプロモーションを行った経緯もあり、今後も誘客に向け、取組を強化していく。

③経済交流と北海道というブランドイメージを生かした農産物や加工品を含め、当地域の魅力や、産業・観光の両面でアピールすることは、地域経済の活性化の視点で重要と考えている。経済交流については、他の団体の例を参考に検討する。特産品等のプロモーション活動については、台湾市場への提供可能な特産品の有無、選定等から調査しなければならぬと認識している。

④本町はフィンランド国ケミヤルヴィ市と友好都市として、中学生派遣交流や雪合戦交流を中心に、東京オリンピックではフィンランドチームのホストタウンとして交流を行っており、こうした経過と基盤を生かし、人材の育成、地域経済の発展など地域振興の観点から、台湾を含め、広く国内外の地域との連携、交流について研究していく。



第36回昭和新山国際雪合戦

# 一 般 質 問

〔総合計画後期のまちづくりについて〕

**Q** 第5次まちづくり総合計画後期のまちづくりをどのように進めるのか

**A** 安定的な財政運営のもと「笑顔あふれる元気なまち」に向けて取り組む



長内伸一

かった。取り組むべき課題として今後も広域的に解決すべき取り組みたい。小口輸送も検討したが、防疫上の問題もあり送れる国が限られる等の課題もあるが農業者のインバウンド対応として検討することもある。

を鑑み施策展開して地域で活躍して貰いたい。

**議員** 地域プロジェクトマネージャーへの考えがあるが集落支援員制度としての総務省の制度を生かした地域おこしに取り組みたい。また噴火を想定した観光地としてのインバウンドへの安全確保への考えは。長期的な避難地となる地域の在るべき姿は。

**住民福祉課長**

地域プロジェクトマネージャーは経験を生かした橋渡し役として当町の重要プロジェクトに対応して貰いたいと考えている。

**町長**

インバウンドの安全確保へは避難確保促進施設を指定し避難計画策定をしたい。

**議員**

未来のまちを創る懇談会あり方の検討と、行政DX化を進めるうえで役場として高齢化の進んでいる当町のデジタルデバイスへのサポート体制の充実を望みたい。

**町長**

女性や子育て世代を対象としたものや地域や分野別も含めて要請があれば積極的に向き合いたい。

要であると考ええる。醸造用ブドウは今後の伸びを期待して検討したい。

**議員**

商工業者の事業承継の取り組みと観光に於けるのインバウンドの産業全体への経済効果は。

**町長**

事業承継は商工会への取り組み支援を行う。インバウンドは大切な経済要素と考える。

**商工観光課長**

観光事業はコロナで大きな打撃を受け洞爺湖温泉と合わせ10数億円くらいの消失があった。現在は入り込み客の大半であり重要な柱である。

**議員**

オーバーツーリズムに対応した公共交通とインバウンドに対応した観光アクセスへの検討は。

**商工観光課長**

10年前から登別広域観光圏で検討したが課題をクリア出来な

**議員** 農業と観光のまちの壮瞥町として具体的な農業の担い手対策は。

**町長**

担い手育成は研修や農地の確保など新規就農者の確保について農業者の皆さんと志をもった担い手の希望をかなえる体制整備を図りたい。醸造用ブドウへの新規就農支援も検討したい。

**議員**

住んでいる地域により農業格差が開く時代の中で基盤整備の青写真を示し検討する必要がある。当町は30代になり親の農業を継ぐユーターン就農が増えている。現に農業を営んでいる現役世代の時代の変化に対応する意識改革も大切。醸造用ブドウの振興も当町の特徴を生かした農業振興との整合性が必要ではないか。

**町長**

国営農地整備の検討をしているなか農業経営を学ぶ組織も必

# 『壮警町の魅力を伝えるために 地域おこし協力隊としての歩み』

壮警町地域おこし協力隊 鎌田 崇弘



## 経歴と移住のきっかけ

昨年4月より、地域おこし協力隊の「まちのリーダー」として、札幌から壮警町へ移住しました。鎌田崇弘と申します。

出身は兵庫県宍粟市、山々に囲まれた自然豊かな環境の中で育ちました。高校卒業後は岡山県倉敷市の音響会社に就職し、7年間勤務。その後、オーストラリアへ渡り、2年程海外生活をしていました。

2018年に帰国し、パートナーの出身地である札幌に移住。通信事

業務以外では、催事の設営やボランティア活動にも参加し、地域の皆さまと交流を深めています。

## 情報発信への思い

私のミッションは、町の魅力を町内外へ発信することです。町外の方には町の魅力を伝え、町民の皆さまには、日々の出来事を思い出として共有していただけるような発信を心がけています。

しかし、町外に向けた情報発信の成果はまだ十分ではなく、今後の課題だと認識しています。

## 今後の目標

当初、私は協力隊の任期終了後に起業することは考えておらず、Web制作のスキルを活かしてリモートワークをしながら壮警町で生活することを想定していました。

しかし、この1年間で多くの方と交流を深める中で、町に貢献できる形での起業ができないかと考えるようになりました。また構想段階ではありますが、具体的な形になった際には、町民の皆さまに胸を張ってご報告できるよう精進してまいります。

また、私事ではありますが、札幌に残っていたパートナーと愛猫2匹が、今月壮警に引っ越してきました。またみんなで暮らせることに喜びを感じております。

今後とも、ご指導ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

## 編集後記

第36回昭和南山国際雪合戦大会も終わり寒さも和らぐ中、各所で新年度を迎える準備が進められています。ものすごいスピードで変化している時代の中、今を生き、次世代に繋げて行かなければなりません。

過去から現在の産業革命を見てみすと、第一次産業革命は1700年代後半、当時人の手でおこなっていた作業を、蒸気機関を動力として機械化し、作業効率を大幅に上昇させることに成功します。

第二次産業革命は1800年代後半に、電力を用いて、工場での大量生産が可能になったほか、化学技術の革新も進みます。第三次産業革命は、1900年代後半にコンピュータを用いて機械の自動化ができるようになりしました。そして今現在は第四次産業革命です。モノのインターネットと呼ばれるIoTによつて世の中の産業構造が変わることを指します。AIによるデータ収集や解析技術が進み、人間からの指示が無くて機械が自ら動く「自律化」を目指す試みです。私たちは今後、どのような変化と進化をしていくのか楽しみですね。

(山本 勲)